

# たけやが

2024年12月9日  
自主学童保育こどもクラブ

## “こどもによる、こどもたちのための” 風の子まつり

12月1日(日) 快晴、こども文化センターにて開催した「風の子まつり」。かほこは30年くらい続いているこどものお祭りです。野川近辺で育った若者は“あ、あれね”と覚えているんです。ある意味、ここ伝統的なお祭りを支えてきた人たちの一員がこぼしたのはクラブです。「エッペン!!」と胸を張りたいですね。かほこはこどもたち。事前準備から始めました。(当日参加できなかった人も、準備はすすめてくれました)

### ゲーム屋さん

「スライム作りたーい!!」と「ゲーム屋さん」を選んだ人が多すぎ!! 数回に分けて、地下でいろんな絵の具を混ぜて作りました。いっぺん作り始めると、手はバタバタ、携帯が鳴ると誰かが泣くと「ちよと行って!! あとで!!」。「手洗っていい?」「容器に入れるところまでやってからだよ!!」と木島騒ぎでした。でもみんなうれしそう。「2コもっていい?」「ダメー!! お祭りでお祭りだから〜!!」洗たくのりと水(湯)とホウ砂という「おまじないの薬」を混ぜまぜして、ラメを入れたらキラキラ。なぜこどもにもこどもたちを惹きつける魅力があるのでしょうか? 当日も、3つ4つも買ってくれるこどもたちばかり、200個あったスライムは全部なくなりました! 完売は初めてだそうです。当日は、多すぎるお店担当の人たちのため、ゲームを4種類とひとつ増やして展開。OBO ちよは受付を手伝ってくれて、フリスボを白い帯とピンクの帯にちよと分けて来なくてくれたりして(土曜か、よくわかってくれている!!)とても助かりました。店員になった人たちは、お魚つり「こつをねらった方がつゆがおいしい」ココロポット「惜しい! 次はもうちよと早目!」とか優しいことばかりをしてくれたり。ゲーム「1人、やって。」カズミとほし「やって!」と素気なかったり(笑)。みんな「当番の時間」はちよと守って、しっかり働かせてくれてエラかった! 前日の練習の成果が、みんな「ココロポット」3回も5点の「あすかいいま」に入れて満点。満足そうでした。



### カレー屋さん

「とにかく10時の開店までにカレーを作りあげないとイケない」ので、当日までにできることはやっておいたのがコツです。3年生以上は当日朝野菜切りをしようので、1・2年生はあらかじめ玉ねぎの皮を剥いておいてもらいました。その数42コ! じゃがいも洗って80コ。「宿題終わったー」「1人、じゃあこち来て〜。玉ねぎの皮剥きたよ〜」「え〜っ!!」カレー屋さんの1・2年生は大人しいなかつたので、3年以上の人も「やってもいいよ」と手伝ってくれました。どんどん慣れたスピードがあたり、ちよも「ちよとちよと!!」こぼしたのは1年生、「玉ねぎ皮剥き競争」なんてのもあつたら優勝しちゃうかも!? 当日は24-6に分かれて、年上の人かこほこやちよ、3年生は受付、2年生は福神漬、1年生はスポンジ作り、と、できそうな役割を担当しました。はじめのうちはお客さんか「少なくて、みんなで「おいしいカレーですよー」「食べると頭が良くなるヨー」など、声を上げて呼びこみ作業。お昼ごろにはたくさんお客様も来てくれました。「福神漬、いいですか?」のセリフ、ちよや ちよは150回くらい言いつつ、一生けんめいでした。1時間ずつ、立ち回りをこどもたちかほこに任せました。7時-12時まで「売り子」になって「いかがですか?」と出張販売しようとしてすぐ完売して帰ってくる。商売上手ですね!! お楽しみ会から1週間か期間がなくて忙しい日でしたが、こども時代に、このように「お店の経験」を積み上げておく大事なことだと思います。お客様への接し方、年上か年下の子に教えてあげたり、そんな仲間がいれば生み出すお祭り、やはり必要ですね。係の方はぜひたくさんの方のお手伝い、ありがとうございます。来年もぜひ、こぼしたのはこどもたち、地域のこどもたちのために、「風の子まつり」を継承していきますよ!!



保護者懇談会のお知らせ  
12月14日(土) PM6:20~8:40  
野川老人いこいの家にて。  
今年最後の懇談会です。皆人来て下さいね。  
(議題は西信予定のメールで確認して下さい。冬休み以降の予定や、導入を検討している宅配弁当についても、ご意見など伺う予定です。)